

現代ビジネス学科のカリキュラムポリシー

1. 学科の教育課程編成方針

以下の方針で現代ビジネス学科の教育課程を編成する。

CPⅠ：(教養科目の編成方針)

豊かで柔軟な人間性を育むという方針のもと、日本国憲法のほか言語表現力や情報リテラシーおよび体力を養う科目で編成する。

CPⅡ：(専門科目の編成方針)

経済社会に対する幅広い知識から実務に即した専門的な技術までを修得することを目的とし、基礎的・一般的学習から発展的・研究的学習へ、という順序性をもった科目配置とする。

CPⅢ：(科目フィールドの編成方針)

教養科目、専門科目を以下に述べる4つの科目フィールドで編成する。

- ① 一般的な教養を身につけるとともに、経済社会と企業活動の仕組みを理解する「基礎フィールド」。
- ② ビジネス実務の専門的知識と技術を身につける「現代ビジネスコアフィールド」。
- ③ 資格取得を通じて専門性を高め、就業力の向上を目指す「オプションフィールド」。
- ④ 学外の事業体との協働を通じて実践的な知識と技術を身につける「産学連携フィールド」

(「学科で獲得する力」や「学力の3要素」と学科カリキュラムの関係)

カリキュラム	教養科目	専門科目	専門科目
学科で獲得する力 学力の3要素	人間力	専門力	地域貢献力
①知識・技能	◎	◎	◎
②思考力・判断力・表現力	◎	◎	◎
③主体性・協働性・多様性	◎	◎	◎

2. 学科の教育課程実施方針

以下の方針で教育を実施する。

CPⅣ：「教養科目/教養ユニット」では、人間としての常識を、「専門科目/キャリア形成ユニット、ビジネス選択必修ユニット」では、ビジネス全般に共通する知識・技能を学生が重点的に身につけ、社会人に求められる基本的な能力を獲得できるような形態や内容で実施する。

CPⅤ：「専門科目/現代ビジネスコアフィールド」は、学生の専門性を高められるような形態や内容で実施する。同時間開講でなければ、学生がフィールド中のひとつのユニットのみならず複数のユニットについて履修することを可能とする。このことで入学直後に進路を決めかねている場合でも、学生自身が自らの適性を判断可能となる。また、複数ユニットを履修することにより適正範囲を拡げることが出来る。

CPⅥ：「専門科目/ゼミナール」や各種演習科目は、学生が知識・技能を受動的に修得するだけでなく、自ら課題を発見し、解決に向けての実践力を身につけられるような形態や内容で実施する。

CPⅦ：「専門科目/資格対策ユニット」は学生が、各種検定試験等の合格や高得点を目指せるような効果的な内容で実施する。各種検定試験等の合否や得点は、学修達成度の客観的評価となるだけでなく、社会人としての自信や反省材料となる。

CPⅧ：学生の「ポートフォリオ」への記入は、上記一連の科目の履修を通じて、学びの進捗を自己点検できるように、1年次から卒業時まで半期ごとに実施する。